

○ 全国学力・学習状況調査と到達度検査が実施されました

21日(火)、全国学力・学習状況調査(全国学調)と到達度検査(CRT)が実施されました。

全国学調とは、平成19年度から文部科学省によって実施されている全国的な学力等の調査で、毎年4月中旬に実施されています。**対象は中学校では3年生**で、教科は**国語と数学**でそれぞれ、知識・技能の定着を見る「A問題」と知識・技能の活用力を見る「B問題」に分けた4教科、そして本年度は**理科**も加わり、計5教科で実施されました。

また**CRT**は、四日市市教育委員会が市内の子どもたちの学力を把握するため、本市全中小学校の特定の学年(**中学校は1・2年生**)で平成14年度から実施されています。今年度、中学校では、1年生は**国語と数学**の2教科が、2年生はそれに**英語**を加えた3教科で実施されました。

いずれの調査も、特定教科における筆記による調査ですから、あくまでも学力の一部を把握するものであることをまずご理解ください。また、調査の主目的は、生徒の学力を把握し、今後の学力向上に向けた授業改善に生かすということから、成績に加味するものではありません。

調査結果については、全国学調は2学期当初に、CRTは1学期末に個人の結果を配付するとともに、本通信で学校全体の傾向をお伝えする予定です。

○ おしかりをいただきました

一昨日(20日)、以下のようなおしかりの言葉を地域の方から厳しい口調でいただきました。。

今朝、7時20分頃、平津新町から下ってきた三岐鉄道の踏切前で自動車を停車させていた。そうしたら、朝明中の生徒が道にいっぱい広がって自転車でやってきた。そして私の自動車の脇を何台かの自転車がすれ違った時、一台が私の自動車のバンパーにぶつかった。バンパーに傷はつかなかったけれども、自転車に乗っていた生徒は謝罪もせずに行ってしまった。雨の中のことで、私も引き止めなかったが、朝明中ではきちんと自転車の乗り方を指導しているのか！

昨年度の本通信第16号でも、地域の年輩の方からおしかりを受けたことを掲載しました。その時も、朝明中の生徒が狭い道を自転車で道いっぱい広がり、すれ違いざま地域の方にぶつかったので、地域の方が注意すると、謝罪するどころか暴言を吐いて行ってしまったというものでした。

今回のこととも共通しているのは、自転車の乗り方が悪いことに加え、迷惑をかけた人にきちんと謝罪ができなかったことにあります。横着に自転車に乗っていた際の事故であっても、けがをすれば自動車側の責任となることがほとんどです。また自転車であっても、自動車に傷をつけたり、歩行者に大けがをさせたりすることもあります。だからこそ、危険を感じた人は腹も立つし注意をされるわけですし、それに対して謝罪もしないのでは当然「許せない」という気持ちにもなります。

通学は学校生活の中での毎日の行為です。生徒のみなさんは、くれぐれも、事故のないよう気を付けるとともに、迷惑をかけてしまった時は、きちんと謝罪しましょう。

また、保護者の皆様におかれましても、ご家庭でのご指導をよろしく願いいたします。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。